



だい かい
第20回 LLブックセミナー

える える
LLブック
よ ほん
(読みやすくわかりやすい本)

だれもがみんな^{どくしょ たの}読書を楽しみたい。
知的障がいや自閉症、読み書き障がい
などがあったても、^{ねが}願いはいっしょ。

すす
を進める

LLとは、スウェーデン語の Lattlast^{りやくこ}の略語で、「やさしく^よ読める」という意味^{いみ}です。

日本のバリアフリー絵本の あゆみと課題

我が子の読書のバリアに立ち上がったお母さんたちが制作したバリアフリー絵本の草創から50年。日本のバリアフリー絵本の発展に尽くされてきた^{かくあげひさこ}攪上久子さんを招き、日本のバリアフリー絵本のあゆみと課題について講演いただきます。

20年間の<世界のバリアフリー児童図書展>展開の窓から見たことを報告し、会場の皆様と一緒に考え合います。地元大阪の手作りバリアフリー絵本も紹介します。

話題提供として、代読ボランティア活動を始めて3年目となる生駒市図書館から、市内の複数の図書館や施設などに広がってきた読書サポート活動の近況を報告します。ダウン症研究所が取り組んできた中学生以上のダウン症の方に LL ブックを使った料理教室について紹介します。

にちじ ねん がつ にち にちようび
日時：2025年 2月23日 (日曜日)

かいじょう
13:00~16:30 (開場：12:30)

ていいん
定員：200名 (当日先着順)

かいじょう おおさかしりつちゅうおうとしょかん かいだいかいぎしつ
会場：大阪市立中央図書館 5階大会議室

にゅうじょうわりょう
入場無料

おおさかしにしききたほりえ ちようめ
大阪市西区北堀江4丁目3-2
おおさかめとろせんにおまかせん ながほりつるみりょくちせん
Osaka Metro千日前線・長堀鶴見緑地線
にしながほりえき こうでくち
西長堀駅7号出口すぐ
でんわ
電話：06-6539-3326
ふあックス
FAX：06-6539-3336





えるえる

LLブックセミナープログラム

13:00~14:30 日本のバリアフリー絵本のあゆみと課題
ーバリアフリー絵本は、バリアを超えてきたのかー

かくあげひさこ

攪上久子 (バリアフリー絵本研究者・女子美術大学非常勤講師)

特別支援学校教師を経て1998年より乳幼児期の親子の心理臨床に携わる(公認心理師。臨床発達心理士)。2003年よりJBBY(日本国際児童図書評議会)で「世界のバリアフリー絵本展・児童図書展」の実行委員長を務めるなど、多くのバリアフリー図書事業に携わってきた。2024年3月バリアフリー絵本研究で博士号を取得。

『絵本学事典』中川素子・吉田新一・石井光恵・佐藤博一編、朝倉書店2013「障害と絵本」「障害に対応する絵本」分担執筆、『児童サービス論』伊香左和子・塚原博編著 ミネルヴァ書房2023「第8章障害児向け資料」分担執筆など

14:30~15:00 休憩(会場にLLブックのほか、大阪市立中央図書館を活動拠点にしている手作り絵本団体の作品を展示)

15:00~15:45 生駒市図書館での読書サポート事業一開始から3年目を迎えて
西村早苗 (生駒市図書館 司書)
久保和至 (社会福祉法人いこま福祉会かざぐるま 主任)
大谷健太郎 (社会福祉法人いこま福祉会かざぐるま 施設長)

15:45~16:20 中学生以上のダウン症の方を対象としたLLブックを使ったクッキング教室について
三木千鶴 (ダウン症研究所)

16:20~16:30 質疑応答

企画・司会 藤澤和子(びわこ学院大学) 吉田くすほみ(ダウン症研究所)



主催: 知的障がい・自閉症児者のための読書活動を進める会

共催: 大阪市立中央図書館

後援: 社会福祉法人大阪手をつなぐ育成会